

「草の根・人間の安全保障無償資金協力」

サンパウロ州サンパウロ市

「サンタ・クルス病院外科センター医療機材整備計画」に係る

草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式について

在サンパウロ日本国総領事館

去る7月2日(木)午前9時より、「サンタ・クルス病院外科センター医療機材計画」に係るサンタ・クルス日伯慈善協会への我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式を行いました。式典には中前隆博／在サンパウロ日本国総領事、土屋信司／ブラジル三井物産社長、レナット・石川／サンタ・クルス日伯慈善協会理事長他約40人が出席しました。

会場:サンタ・クルス病院 <Hospital Santa Cruz>

住所:Rua Santa Cruz, 398 Bairro Vila Mariana - São Paulo (SP)

CEP:04122-000

電話番号:(11)5080-2000

来賓の挨拶:

・レナット・石川理事長は、「サンタ・クルス病院は病棟の拡張、新機材の導入及びインフラ設備に投資することを目標としている。これからも、在サンパウロ日本国総領事館、日本大使館、JICAと日本企業からのご協力を戴きながら、ブラジル社会で活動を継続させ、さらに、ブラジル日系社会にとって、誇りを持てる団体であり続けることを心がけていく。日本国政府及び三井物産の協力で新たな医療機材を導入できたことは大変喜ばしい。あらためて、協力戴いたことに日本政府及び三井物産へ感謝の気持ちと敬意を表したい。」と謝辞を述べました。

・中前総領事は、「サンタ・クルス病院は当地の移民開始以来の関係者の悲願であったが、移民の皆様との並々ならぬ御尽力に加え、本邦よりの協力をうけて建設された。本病院は、日系社会の

方々のみならず広くブラジル全体からも高い評価を受けており、当地市民への医療サービスの面で多大の寄与をされていることを心から歓迎したい。」と挨拶しました。

・土屋社長は、「今回の協力は、弊社とサンパウロ日本国総領事館とのブラジルにおける初めての官民連携による草の根・人間の安全保障無償資金協力となった。ルシアーノ・コウチーニョ国立社会経済開発銀行(BNDES) 総裁から弊社に日本病院として歴史的・社会的重要性が認識されているサンタ・クルス病院への支援が求められたことがこの協力へのきっかけでもある。ブラジル三井物産とサンタ・クルス病院はこのブラジルではほぼ同じ長さの歴史を持ち、今後もサンタ・クルス病院へ何らかの形で支援できないか検討したい。」と挨拶しました。

供与式写真



新機材の確認



供与式関係者、看護師及び医師



左より土屋信司社長、レナット・石川理事長及び中前隆博総領事による ODA プレート序幕



供与式関係者

○上記案件のプロフィール

案件名: 「サンタ・クルス病院外科センター医療機材整備計画」

被供与団体: 「サンタ・クルス日伯慈善協会」

プロジェクト実施地: サンパウロ州サンパウロ市

契約書名式日: 2014年12月09日

供与額: 232, 316. 00リアル(草の根・人間の安全保障無償資金協力)

123, 000リアル(三井物産)

案件の概要: 案件概要: サンタ・クルス日伯慈善協会は1926年に設立され、現在はベッド数168、医療チームとして約2, 700人の医師が登録されており、これらの医療チームは専門知識を有するハイレベルの有資格者であり、病院が提供するサービスに全幅の信頼が寄せられています。

サンタ・クルス病院の2014年の診察数は、103, 958件であり、当該病院は年間約14, 721件の手術を行っているが、各種手術用機材の老朽化が進んでいるためこれらの手術に対応するための最新の機材整備を要望しました。

供与品目: 在サンパウロ日本国総領事館草の根・人間の安全保障無償資金協力からは、手術台、電子外科用メス及び気管支鏡が供与されました。三井物産からは、気管支鏡、麻酔器と手術ライトが支援されました。